

プロジェクト情報

- 国名：パキスタン
- 事業名：定期予防接種強化プロジェクト
(有償勘定技術支援-円借款附帯プロジェクト)
- 協力期間：2014年から2018年
- 相手国機関：ハイバル・パフトウンハー(KP)州保健局

1. プロジェクトの背景・概要

パキスタンはポリオ常在国の一つであり、近年でも麻疹やジフテリアといったワクチン予防可能疾患の流行が大きな課題となっています。このため日本政府は、1996年からポリオ対策及び定期予防接種強化のための無償資金協力を行っています。JICAは、2006～2011年に実施された「拡大予防接種プログラム(Expanded Program on Immunization: EPI) 1/ポリオ対策」プロジェクトでは、ハイバル・パフトウンハー(KP)州ハリプール県における乳幼児の予防接種件数の増加に貢献しました。そこで、同プロジェクトの成果をKP州の他県に展開し、同州の予防接種事業を強化することを目的として、2014年に本プロジェクトを開始しました。

2. ジェンダー視点からみたパキスタンの予防接種の状況

パキスタンでは、保健施設へのアクセスの悪さ、治安の問題、地域住民の間での予防接種に関する理解不足や誤解などにより、乳幼児が2歳になるまでの完全予防接種率は2015年時点で54%(統計局)に留まっています。特に保守的な地域では、女性や女兒が男性の許可なく外出できない慣習があり、母親が子どもを保健施設に連れて行って予防接種を受けさせることができません。また、女性が予防接種に関する情報を得る機会を得られていないことや、家庭内の意思決定に参加できていないことも課題の要因となっています。

3. ジェンダー視点に立った取り組み

(1) ジェンダー分析の実施

プロジェクトでは、定期予防接種の阻害・促進要因を探るため、対象地域の保健施設従事者や乳幼児を持つ家庭を対象に、予防接種の実施状況や、乳幼児の性別による保健サービスの利用度の違いや利用に際しての障壁の有無、家庭内の意思決定の状況などについ

での聞き取り調査を行いました。そして収集した情報をジェンダー視点から分析し、その結果を踏まえてプロジェクト活動を実施してきています。

(2) 「レディ・ヘルス・ワーカー」の能力強化

レディ・ヘルス・ワーカー(Lady Health Worker: LHW)とは、コミュニティにおける基礎的な保健サービスの普及員で、母子に予防接種を推奨する立場にある女性たちです。一方、彼女たちの多くがこれまで研修を受けたことがなく、予防接種に関する知識も不十分でした。そこでプロジェクトは、LHWが予防接種に関する知識や実施促進能力を高めていくべく、研修や技術訓練を実施してきました。研修を受けたLHWたちは、それぞれのコミュニティに戻り、母親たちに予防接種の重要性や安全性を説明するとともに、保健施設へのアクセスが悪い地域では自分たちでワクチン接種も行っています。伝統的慣習や治安上の理由で女性や女兒が男性の許可なしに外出できない地域では、LHWの家庭訪問による予防接種は特に有効です。



LHWの能力強化研修

(3) 父親に対する啓発活動

プロジェクトで実施したジェンダー分析調査の結果、家族内で意思決定権をもつ父親が、子どもの予防接種を許可していないことが、未接種の大きな要因の一つであることが分かりました。そこでプロジェクトは、父親が在宅する早朝や日曜日に巡回予防接種活動を行う、地域の長老たちを動員して父親たちに予防接種の意義を説明してもらうといった啓発活動を実施してきました。このような活動の結果、父親たちの多くが予防接種の重要性を理解し、子どもに予防接種を受けさせるようになりました。

¹ 拡大予防接種プログラム(EPI)とは、1974年にWHOとユニセフなどが協働して開始し、5歳未満児死亡の原因となるジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオ、麻疹、結核等の感染症に対する予防接種を推進するものである。



父親を対象とした予防接種の啓発活動

(4) アウトリーチ活動の強化

保健施設へのアクセスが困難な地域に住む子どもや女性への予防接種のため、プロジェクトではアウトリーチ活動の強化にも取り組んでいます。山のふもとにある保健施設から、ワクチン接種に携わる医療従事者やLHW たちが何時間もかけて山を登り、点在する家々や遊牧民キャンプを戸別に訪問し、子どもや妊娠可能な年齢の女性たちに必要な予防接種を行っています。



アウトリーチ活動に従事するレディ・ヘルス・ワーカー

(5) 女性の発言力とリーダーシップの強化

プロジェクトでは、各自治体が予防接種の年間計画を策定する際は、各地域の保健施設長、予防接種技術者、自治体の議会メンバーに加え、LHW の参画を強く奨励し、彼女たちの経験や知見が十分に計画に反映されるよう意識的に取り組んでいます。計画策定に際しては、LHW が担当する地域の人口分布や動態を把握することが不可欠であり、LHW たちはこうした機会を通じてその発言力やリーダーシップ力を大きく向上させてきています。

プロジェクトの取り組みは、予防接種率の改善とともに、保守的な地域における女性のエンパワーメントにも貢献しています。地域の女性たちをLHWとして育成する取り組みは、生計手段が限られている女性たちに外で働き、現金収入を得る機会を提供しています。地域によっては、女性でありながら外で働くLHWに対する偏見が根強く、暴力を受けたりするケースもあります。しかしLHWたちは、「なかなか外出できない女性の力になりたい」「知り合いや近所の女性たちが子どもを失う悲しみから救いたい」という強い使命感を持って活動しています。